

総務教育常任委員会資料

(令和元年7月19日)

【項目】

ページ

1 とっとり創生若者円卓会議の実施について

【新時代創造課】・・・1

令和新時代創造本部

とっとり創生若者円卓会議の実施について

令和元年7月19日
新時代創造課

多様な分野で活躍する県内の若者の発想を提言等にまとめ、県施策へ反映させることを目的とした「とっとり創生若者円卓会議」の第1回全体会議を実施しましたので、その概要を報告します。

1 事業概要

(1) テーマ・体制等

	テーマ	メンバー	担当課
1	文化財の利活用を通じたふるさとの「誇り」づくり	5名	文化財課
2	プラスチックごみ排出ゼロに向けた県民運動の広がり	5名	循環型社会推進課

(2) 実施スケジュール

- 第1回全体会（7/1）：各テーマに関する意見交換、提言等に向けたグループワーク
- グループ活動（7～8月）：現地視察や会議開催
- 第2回全体会（9月中旬）：成果発表・意見交換
- 第3回（10月中旬）知事へ提言書を提出

2 第1回会議の概要

- (1) 日時：令和元年7月1日（月）午後6時から8時まで
- (2) 場所：とりぎん文化会館 第4会議室（鳥取市尚徳町）
- (3) 活動目標等：

【テーマ1：文化財の利活用を通じたふるさとの「誇り」づくり】

	内 容
活動目標	有名な文化財だけでなく、地域で長年大切に守られてきた小さな文化財に気付くきっかけ作りが大事である。コアなファンでなくとも気軽に文化財やその周辺文化に触れられるような工夫を検討していく。
活動方法	文化財を保存・活用している現場の視察や、地域の文化財を守り、継承されてきたお年寄りに話を聞くなどのフィールドワークに取り組みたい。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・HPやパンフレットは、掲載している文化財の解説を主目的としていて、文化財検索を目的としていない人にはつながらない。他の地域情報を検索した際に文化財の位置や文化財に行きつくまでの交通手段等とともに文化・文化財情報も入手できるような仕組みが必要である。 ・地域の石仏や道祖神など長く守られてきた小さな文化財にも目を向けるべきである。 ・史跡の柔軟な活用（音楽フェス、ビアフェス、スポーツなどと絡めて）を検討したい。

【テーマ2：プラスチックごみ排出ゼロに向けた県民運動の広がり】

	内 容
活動目標	プラスチックごみ削減に向けた取組が浸透していない現状に興味関心を持ってもらうためには、ルールとして従わざるを得ない職場や学校単位での取組が効果的。どのような取組が考えられるのか検討していく。
活動方法	机上の議論だけでなくフィールドワーク（ゴミ焼却場や実際にゴミが捨てられている現場（海岸など）に行ってみる）にも取り組みたい。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそもプラスチックごみを減らすことを目指すべきなのか、プラスチックごみのリサイクルを考えるのかについても議論すべきである。 ・プラスチックごみ削減に向けた具体的な取組として、マイバック、マイボトルを推奨し、ペットボトル飲料等は値上げを検討してはどうか。 ・海外の先進事例や大企業の取組の中で、鳥取県でも取り組めるものがないか調査したい。

3 今後の取組

今回の事業説明、意見交換を踏まえ、テーマ別グループによる現場視察と意見交換を行うことで各テーマの課題に対する理解を深め、10月の知事への提言につなげる。

